

菊まちネット

編集・発行 菊水地区まちづくり
ネットワーク会議
会長 真鍋 義雄
菊水まちづくりセンター内
(菊水7条2丁目2-20)
電話 811-9445
FAX 811-3831

(第2号)

「菊水地区まちづくりネットワーク会議」の活動紹介

情報事業部 (部長 関口 和彦さん)

8月27日から9月26日にかけて「菊水地区まちづくりネットワーク会議」主催の第1回パソコン教室が開催されました。お陰様で10名の枠に対し、23名の応募がありました。抽選の結果当選された10名の方が、全10回の講習を受けました。パソコンに触れたこともない方々ばかりでしたが、皆さん1回も休まず、熱心にそして和気あいあいと楽しくパソコンの基礎技術を学びました。最終回では、各自が作ったチラシや葉書の作品を発表し合いました。皆さん、今回覚えたパソコンの技術を地域活動やサークル活動などに活用していきたいと話していました。残念ながら抽選に漏れた方々を対象に、急遽短期コースを追加設定し受講(9名)していただきました。～お疲れさまでした～



総務・企画事業部 (部長 本田 忠男さん)

総務・企画事業部より、現在の活動状況を報告致します。構成メンバーは8名ですが～市民が主役、住民が主体のまちづくりサポート～をコンセプトに、事業の検討を進めています。ご承知の通り、菊水町内会連絡協議会(東連町、西連町、南連町、北連町、上町連町)では、福祉のまちづくり推進事業、防犯パトロール、校区内ごとの見守り活動、青色回転灯パトロール、美化活動等、各々地域の実情に合わせた活動が展開されて居りますが、これら諸活動のネットワーク化を中心に、全員参加、継続発展、そして、安全・安心なまちづくりを進めて参ります。

目標として

- 1、各事業計画策定活動サポート。
- 2、会議運営のスタッフ活動。
- 3、広報紙「菊まちネット」の発行。

今後の課題として

- 1、組織の将来像検討。(ワーキング方式)
- 2、企業・商店への参加PR。

子どもの登下校時「見守り活動」の紹介

☆青色回転灯パトロール(西連合町内会の場合)

全国的に子どもを巻き込んだ事件が多発する中で、子ども達の登下校時の安全確保を願い、学校、保護者、地域が一体となって、見守り活動や、防犯パトロールが実施されています。このような状況の中、これまで警察車両や消防車などの緊急車両、道路維持作業車しか回転灯は許可されませんでした。犯罪の抑止効果を期待し、平成16年12月より規制が緩和され、地域住民等による自主防犯パトロール車に青色回転灯を装備することが認められるようになりました。西連合町内会では、5台の青色回転灯装備車を登録し、毎週2回(交代制)で通学路を巡回しています。子供たちの安全確保のみならず、市民の皆様様の安心感と安全意識の高揚を願いつつ、パトロールを実施しています。お近くで見掛けましたら、是非応援してあげてください。

(菊水地区の青色回転灯パトロール登録車は17台、人員は27人です)

☆自転車パトロール(チャリパト)

右の図は、自転車を多く利用される方にご協力をいただき、前方荷物バケットに「見守り活動」の腕章を取り付け、目的地までの間でパトロールを実施して頂くというものです。多くの皆さんの協力参加をお願いいたします。



子ども盆踊りの歌

トピックス

今年も、子ども盆踊り、子ども祭りが、菊水地区の五つの連合町内会ごとに、地域社会との「ふれあい」や「つながり」を深めるために、町内会の役員さんや、女性部の方々、商店の方々が総出で、出店、そしてゲーム、カラオケ、仮装など、趣向を凝らして実施されました。耳を澄ませば聞こえてくる、なつかしメロディやお囃子「シャンコ シャンコ シャンコ…」……「子ども盆踊りの歌」北海道教育委員会が今から50年前前に作詞・坪松一郎、作曲・山本雅之に依頼し作ったそうです。最近では、経費が掛かる、近所の音に対するクレーム、子どもの参加が少ない等の理由で、めっきり減ってしまいましたが、人間関係の希薄さが取り沙汰される中、子ども達と地域のかかわりを大切にする北海道の文化「子ども盆踊りの歌」を今後も絶えることなく次の世代に伝えていきたいものです。関係者の皆さん、本当にお疲れ様でした。



防災訓練実施

8月30日(木)午前9時30分に震度6強の地震が発生したという想定のもと、白石区防災訓練が幌東小学校グラウンドで行われました。菊水地区からは約150名の方が参加されました。倒壊家屋のガレキの中からのダミー人形救出と搬送、煙が充満した部屋からの脱出訓練、水バケツリレーや消火器による消化訓練…。



今年の訓練は事前に選んだリーダーを中心に、「自分たちで考え行動しよう」に力点が置かれ実施されました。「たとえ失敗しても、それこそが訓練の意義」…。赤十字奉仕団菊水分会の皆さんは、他の分会の方々と一緒に炊き出しの訓練をかねて五目ごはんを作り、参加者全員で試食しました。～ご馳走様でした～



白石・みんなであそぼう！

8月2日(木)幌東小学校において地域の子どもから大人まで281名(大人125名、乳幼児96名、小学生60人)が参加しました。子育て中の家庭と地域のさまざまな人たちとの交流を深め、心豊かな子育て環境づくりを目指し、白石区(健康・子ども課子育て支援係)がコーディネータ役で実行委員会を組織し、町内会、民生委員・主任児童委員、青少年育成委員、子ども会、幌東中学校、札幌福祉専門学校、大谷大学等がスタッフとして参加。幸い、天候にも恵まれ、遊びの内容も豊富。「乳幼児が楽しめるコーナー」づくりに成功。子ども連れで来たお母さんから「去年より小さな子どもが楽しめる遊びが多くてよかった」との声も届き、子育て

支援事業に対する各団体や組織の協力参加が、功を奏した形でした。



白石区民ふれあい健康マラソン大会

9月30日(日)万世公園グラウンドにおいて、第15回しろいし区民ふれあい健康マラソン大会が晴天に恵まれた中で実施されました。この日は9時30分より開会式が始まり、横山直満大会長(白石区長)の挨拶、次いで奥村輝一白石区町内会連絡協議会会長の激励の言葉があり、10時より、競技が開始されました。一般参加者202名、中学生57名、小学生109名、親子ペア75名と多数の参加により、清々しい秋晴れの中で、まさに、タイトル通りの「白石区民ふれあい健康マラソン大会」でした。又、当日は、白石区の職員をはじめ、各連合町内会、体育指導委員会、体育振興会連合会、青少年育成委員会の方々の大会役員や、スタッフで運営され、スポーツの秋にふさわしい一日となりました。

